



下館ロータリークラブ会報

第 02674 号

発行日／令和 6 年 10 月 9 日



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本日のプログラム

外部卓話（下館JC）

次週のプログラム

新入会員卓話

会長／宮田 憲一

副会長／早瀬 浩一

幹事／潮田 武彦

会長エレクト／堀江 勤

Facebook



例会日時／水曜日 12時30分

例会場／ダイヤモンドホール（〒308-0847 茨城県筑西市玉戸1053-4 ☎0296-28-8511）

URL／<http://www.shimodate-rc.gr.jp>

E-mail／shimodate@ri2820.jp

Instagram





前例会報告 第 3067 回 2024/10/2(水)

来 訪 者 ようこそ下館 R C へ

村上 義孝 様 (地区米山委員会学友委員長)

江田 治雄 様 (米山寄付推進委員)

会 長 挨拶 宮 田 憲 一 会 長



皆様こんにちは。まず本日のゲストのご紹介です。地区米山委員会米山学友委員長 村上義孝様、つくば学園 R C です。同じく米山寄付増進委員の江田治雄様、下妻 R C です。今月は米山月間ということで、本日は出前卓話をいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、みなさんもニュースなどでご存知のことと思いますが、ネパールで連日の大雨により引き起こされた洪水・土砂崩れにより約 200 名の方が亡くなったほか、各地で大きな被害に見舞われています。数百軒以上の家屋・建物の損壊や幹線道路の寸断、送電線の切断など大変な状況です。

ネパールは当地区の友好地区でもあり、下館 R C と 20 年来のツインクラブを結んでいる、カスタマンドアップ R C のメンバーに確認したところ、会員の方々は皆さんご無事とのことでしたが、勤務先の学校や病院が水害により水没したなどの知らせを聞きました。

地区国際奉仕委員会の平島隆之総括委員長を介し、ガバナー事務所にも被災者支援要請

をしたところでした。クラブとしまして、ツインクラブ・カスタマンドアップ R C と連携して支援協力を実施していきたいと思っておりますので、皆様ご協力をよろしくお願いいたします。

また先週 9 月 25 日 (水) には下館ロータリーアクトクラブ 9 月第一例会に参加してまいりました。下館さくらロータリーサテライトクラブの杉山吉彦議長・今井孝司会員が参加しました。皆様よくご存じの通り、お二人ともロータリーアクト出身であり、杉山さんは地区代表も務めていました。R A C の活動を再開・始動すべく、荒川会長・堀幹事にあらためて会の進行や運営について手取り足取りしっかりと指導してくださいました。

今回は 10 月 30 日 (水) 例会を開催する予定です。水戸証券鈴木支店長に卓話をさせていただく予定ですので、皆様にもご参加いただければ幸いです。

今月のロータリー特別月間は【地域社会の経済発展月間】と日本独自のテーマ【米山月間】が設定されております。

今月のロータリーの友では『歴史を紡ぎ、未来へ～名士の足跡と、ロータリークラブ』と題し、米山梅吉と静岡・長泉町、渋谷栄一と埼玉・深谷、福沢諭吉と大分・中津、それぞれの物語が特集されております。ぜひご覧ください。

10 月 24 日世界ポリオデーに合わせ、当地区では 10 月 27 日【世界ポリオデー 2820】が笠間稲荷神社周辺で開催されます。すでに購入手続き済ですが『END POLIO NOW』とプリントされた赤い T シャツを着て、ポリオ根絶ウォークラリーを行い、ポリオ根絶の啓発活動と寄付金を募るイベントです。潮田幹事が出欠などとりまとめてくれていますので、何卒ご参加いただきますようお願い致します。

会長あいさつは以上となります。



理事会報告

潮田 武彦 幹事

- 会長立候補の告示 10月2日より1週間
- 地区大会について カスタマンドアップR C
訪日 11月8日より1週間
- ポリオ根絶サイクリングチャレンジ 2024
宮崎 2750 地区パストガバナー
10月12日10時30分 「道の駅まくらが
の里こが」に集合

卓 話

江田 治雄 氏

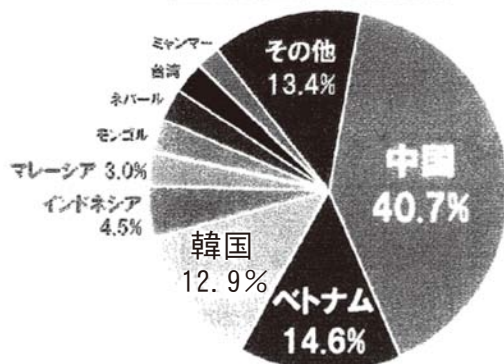
米山月間に因んで

米山記念奨学事業の概要

- ・日本のロータリー独自の事業
(R Iが定める多地区合同活動の手続きを完了)
- ・日本で学ぶ外国人留学生を支援
(公益財団法人を設立し運営)
- ・世話クラブ・カウンセラー制度で交流を重視
“人を育てる事業”

国内最大級の
奨学生数

2024 学年度 **926人**
新規631人/継続295人



第2820地区 2024 年度米山奨学生国別人数

中 国	9 名	モンゴル	4 名
ネパール	3 名	インドネシア	3 名
韓 国	3 名	スリランカ	3 名
ベトナム	2 名	キルギス	1 名
トルコ	1 名	カナダ	1 名
メキシコ	1 名	ガーナ	1 名
台 湾	1 名	インド	1 名

【参 考 資 料】

「米山梅吉氏」について 日本のロータリーの父米山梅吉。1868年(慶応4年)2月4日元武士 和田竹造の三男として東京で生まれる。4歳の時に父竹造氏が急逝。一家は母うたの郷里静岡県三島に移り住む。そこで地元の名士 米山藤三郎が米山家に迎えたいと米山家に入る。15歳の時「もっと勉強をしたい」と家を飛び出し歩いて、東京へ。明治19年東京英和学校(現:青山学院)に入学。明治20年東京銀座福音会英語学校に入学。さらに学問と見聞を深める為19歳で渡米。明治29年米山家の娘はると結婚。英語の才能を活かし「日本鉄道会社」に入社。

その後「三井銀行」へ入社。大正7年視察の為、何度も諸外国へ足を運ぶ中でダラスロータリークラブの会員 福島喜三次(きそうじ)氏と出会う。深く感銘を受けた梅吉氏は帰国後その研究に努め、2年後の大正9年「ロータリークラブ」を日本に創設。

賛同者が次々に集まり「東京ロータリークラブ」創設を皮切りに、全国に続々とロータリークラブが誕生する。

この頃、大正10年～6年の間に、長男、義父、兄2人、次男が逝去。家族を大切にしていた梅吉氏には耐えがたい程の辛い出来事。その心の穴を埋めるように黙々と社会への貢献、奉仕の活動を進めて行く。

昭和12年私財をなげうって「財団法人緑岡小学校(現:青山学院初等部)」を創立し校長に就任。さらに緑岡幼稚園も創立し、妻はるが園長として就任。

昭和15年ロータリークラブは解散を命じられる。ロータリークラブは「水曜クラブ」と名を変え活動を続け、戦後の昭和24年再びロータリークラブと元の名で復活を遂げる。

梅吉氏 1946年4月28日78歳で逝去。



「ロータリー米山記念奨学事業」について

ロータリー米山記念奨学事業とは、1952年梅山米吉氏の功績を記念して東京ロータリークラブが奨学事業の構想を立案、創立。翌1953年「米山基金」の募金開始。1954年9月奨学生1人目が来日。日本のロータリー全地区による国際奉仕事業。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援することにより日本と世界の平和の架け橋になる人材を育てて行く。

「(公財)ロータリー米山記念奨学会」について
外国人留学生を支援する民間最大の団体。ロータリー米山記念奨学金の特徴交流を重視。奨学生は毎月1回以上の世話クラブの例会に出席し、会員との交流によって日本の社会を知り、ロータリーの奉仕の精神について学び、奨学期間終了後は米山学友会に入会したり、ロータリー学友として国際ロータリーのコミュニティに参加する事が出来る。

世話クラブカウンセラー制度

1959年4月世話クラブ制度を設置。1971年4月カウンセラー制度設置。奨学生1人ひとりに地区内のロータリークラブが世話クラブとなり、世話クラブの会員が「カウンセラー」となって日常の相談役を務め、奨学期間中、奨学生は世話クラブで奨学金を受け取り、交流を行う。

スマイルBOX

小松和広 委員

- ▶宮田 憲一さん 今月は米山月間です。寄付のご協力をよろしくお願いします。村上様、江田様ご指導よろしくお願いします。
- ▶潮田 武彦さん 2820地区米山学友委員

長 村上様、米山寄付推進委員 江田様、本日は、ご指導よろしくお願いします。

- ▶堀江 勤さん 米山記念奨学委員会 村上義孝委員長、江田治雄 推進委員、お二人の来訪を記念して。卓話、宜しくお願い致します。
- ▶神山 芳子さん すっかり秋めいてきました。先日の神山芳子バレエスクールパフォーマンス2024ではポリオ募金活動へのご協力ありがとうございました。感謝です。
- ▶永井 啓一さん 米山学友委員長 村上様 米山寄付推進委員 江田様、ようこそいらっしゃいました。卓話よろしくお願いします。
- ▶中里 泰久さん 村上米山学友委員長、江田米山寄付推進委員、ようこそ！本日はよろしくお願いします。
- ▶横塚 篤さん 米山学友委員会 村上委員長、江田寄付推進委員、本日は宜しくお願いいたします。
- ▶小松 和広さん 米山学友委員長 村上様 寄付推進委員 江田様、卓話よろしくお願いします。
- ▶鈴木 士裕さん 村上米山記念奨学委員長、江田米山推進委員、本日は卓話よろしくお願いします。

本日の合計 20,000円 累計 186,000円

出席報告

会員数	出席数	欠席数	病欠	免除
17	11	4	1	1



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理想を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。